科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：知識の修得と活用―そのメカニズムを検証してみよう― ILAS Seminar :Let's investigate the mechanism how to get and utilize knowledge.			担当者所属職名・氏名	エネルギー科学研究科 准教授　奥村　英之		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	受講定員(1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	1共23			使用言語	日本語
キーワード	論理的思考 / 知識 / 俯瞰視 / 因果律 / 秩序と調和						

[授業の概要・目的]

大学における学問や企業生活を含む社会生活等においては、過去の事例を頭に置き、必要な知識の飽くなき探究、無数の選択における的確な判断、そしてそれを実行する能力が求められる。

私は材料科学の専門家として、学問とは過去の事例や知識の単なる集積にとどまらず、それらの活用による新たな知の創作・発見であると考えている。これは、おそらく全ての学問分野について言えることであろう。学生諸君は大学入学までは答えのある問題に解答することが求められたが、大学において本質的な意味での学問を身につけるためには、俯瞰的に事象を観察し、同時に目標を設定しロジカルに戦略・戦術を考えていくことが重要であり、そのトレーニングを行う事が不可欠である。その過程において知識の修得・活用のメカニズムを理解しておくことは、効率よいトレーニングを行うためにも重要である。

本ILASセミナーでは、上記の目的に立ち、多くの大学及び社会で戦略・戦術的思考を醸成するために活用されている「囲碁」を用い、知識の修得と活用のメカニズムを検証しつつ、俯瞰視と総合的判断能力を培う。授業を進める中では、単なるゲームの知識獲得ではなく、知識の獲得と活用には適切な判断と責任が伴うこと、さらには俯瞰視に基づく論理的思考（ロジカルシンキング）が身につくように工夫する。

[到達目標]

俯瞰的に事象を観察し、同時に適切な目標を設定してロジカルに戦略・戦術を考えてゆく能力の修得。

大学及び社会で戦略的・戦術的思考を醸成するために活用されている「囲碁」を用い、知識の修得および活用のメカニズムを検証しつつ、俯瞰視と総合的判断能力を培う。知識の獲得と活用には適切な判断と責任が伴うこと、さらに俯瞰視に基づく論理的思考（ロジカルシンキング）の重要性などを理解する。

[授業計画と内容]

授業回数はフィードバックを含め全15回とし、以下のテーマについてそれぞれ1～2回の講義をおこなう。

１）基本的知識の獲得（2回）
２）基本的知識と過去の事例の重要性に関して（1回）
３）俯瞰視の重要性について（1回）
４）判断と責任に関して（2回）

ILASセミナー ：知識の修得と活用―そのメカニズムを検証してみよう―(2)へ続く↓↓↓

５）布石を打つとは（2回）
６）定石の考え方と基本的な使い方（2回）
７）過去の事例に関して（1回）
８）俯瞰的判断の基本とその意味（1回）
９）俯瞰視に基づく論理的思考と知の創作、発見（2回）

について囲碁の実習を交えて講述し、知識の修得と活用には的確な判断と責任が伴うこと、さらに俯瞰視に基づく総合的判断能力や論理的思考（ロジカルシンキング）が不可欠であることなどを学ぶ。

[履修要件]

講義では囲碁の修得過程を題材にするので、既に囲碁について相当の力量を有している者は受講対象外とします。

[成績評価の方法・観点]

平常点（講義への積極的参加)、レポートの提出点、セミナーでの発言内容、などをもとに総合的に評価する。詳しくは授業中に説明するが、原則として：

・討論・講義への積極的な参加（３０点）、
・レポート（２回、計５０点）
・発表（２０点）

により総合的に評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
必要に応じて講義中に資料を配付する。

[授業外学修（予習・復習）等]

講義の進捗状況や学生の能力修得状況に応じて、適切と思われる課題を課す場合がある。

[その他（オフィスアワー等）]

講義で使用する囲碁対局等に必要な用具はセミナーの場で貸与する。